

科目名	基礎看護学特殊研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (基礎看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 新井直子 教授 砂見緩子					科目ナンバー	T2C203
課程	博士後期	配当年次	2～3年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	自己の研究課題に沿った適切な研究活動を行い、基礎看護学領域の発展に寄与する新規性、および学術的意義のある博士論文を作成する。						
授業の到達目標	1.研究計画書に基づき、信頼性と妥当性を確保しながら、データ収集・分析を実施することができる。 2.分析結果、考察、論文の構成などを検討しながら論文を作成することができる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p><b>【行動目標】</b> 研究プロセスに沿って、自律した研究者として、研究論文を完成させることができる。  ・研究課題を抽出し、明確化し、言語化して表現することができる。  ・先行研究をクリティークすることができる。  ・研究デザインを検討して決定することができる。  ・研究方法を選択し、研究計画書を作成することができる。  ・研究倫理審査の受審に必要な文書を作成することができる。  ・データを収集することができる。  ・データを分析することができる。  ・結果を記述することができる。  ・結果を考察することができる。  ・研究の限界と今後の課題を明示することができる。  ・結論を明らかにすることができる。  ・論文を作成し、成果として公表することができる。</p> <p><b>【研究テーマ】</b>  新井直子:  ・創傷(特に褥瘡)の発生・治癒プロセスと、創面評価に関する研究  ・リンパ浮腫ケアに関する研究</p> 砂見緩子: ・看護職を対象とした職場へのトランジション、職場適応に関する研究						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	研究推進の進捗状況についてプレゼンテーションを行えるよう、また、他者のプレゼンテーションを通して、ディスカッションできるよう、各自準備する。					
	【事後学修】	授業中の疑問点および課題をまとめ、文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。					
教科書	特に定めない。						
参考書	特に定めない。						
成績評価の方法および基準	研究計画書30%、中間発表20%、口頭試問50%により評価する。						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 レポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行うので活用すること。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示しているのを確認すること。						